

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報 32

—令和5年度—

2024

島根県教育委員会

目次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 令和5年度の調査体制	3
1 組織	3
2 職員一覧	3
II 埋蔵文化財活用事業	4
1 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2 現地説明会	4
3 文化財講座『いにしえ倶楽部』	5
4 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
5 心に残る文化財子ども塾	5
6 インターンシップ	6
7 教員のための博物館の日	6
8 見学等の案内	7
9 職員の講師派遣	7
10 その他	8
11 資料の貸出・調査等	8
III 研究事業	13
IV 研修事業	13
1 埋蔵文化財基礎研修	13
2 埋蔵文化財専門研修	14
V 会議・講習会等参加	16
VI 発掘調査事業	18
1 一級河川江の川直轄河川改修事業（太田地区）に伴う発掘調査	19
2 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	20
3 国道432号大庭バイパス建設に伴う発掘調査	25
VII 学術調査ほか	26
1 史跡出雲国府跡	26
2 考古基礎資料調査研究（墓制調査）	27
3 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	27
4 保存処理・理化学分析	28
5 試掘確認・分布調査	33
VIII 県内調査一覧	34
IX 刊行物	36
1 報告書	36
2 パンフレット	36
3 ドキ土器まいぶん	36

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日

1992年（平成4）4月1日

所在地

〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

電話：0852-36-8608

FAX：0852-36-8025

Eメール：maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

施設の構造

収蔵庫棟：鉄骨造二階建 1990年（平成2）6月竣工 建面積896㎡

本館棟：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積2,911㎡

ブローアー庫：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積11㎡

いにしえ学習館棟：鉄骨造三階建 1997年（平成9）3月竣工 建面積1,317㎡

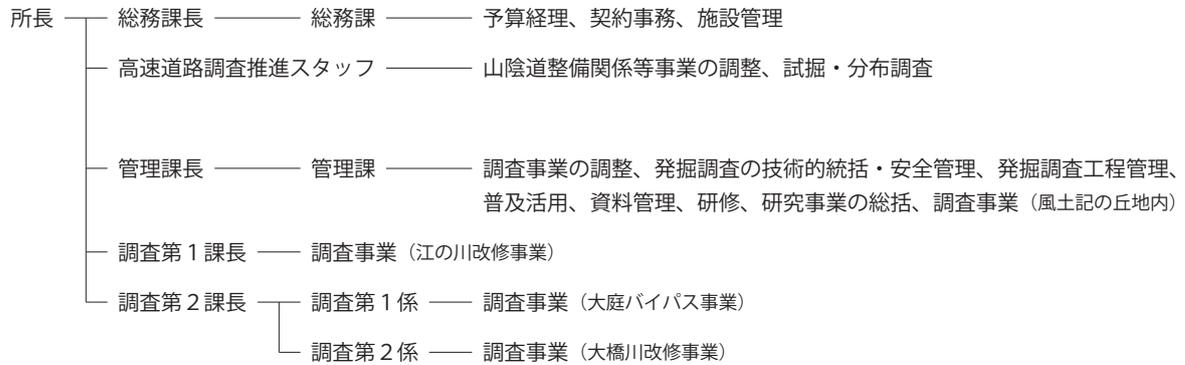
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ 学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡	小計	3,696㎡	
	鉄器処理室	35㎡	プロア庫	プロア庫	11㎡
	木器処理室	35㎡		小計	11㎡
	水洗室	70㎡			
	その他	973㎡		延床面積合計	7,877㎡
	小計	2,550㎡		敷地面積	20,980.61㎡

I 令和5年度の調査体制

1 組織

島根県埋蔵文化財調査センター



2 職員一覧

職名	氏名
所長	熱田 貴保
総務課	
課長	坂本 孝良
主任（再任用） 会計年度任用職員一般事務	加藤 仁志 三島美葉子 岩成 真代 大前 孝之 大西 健
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	間野 大丞
企画幹 会計年度任用職員調査員	大庭 俊次 宮本 正保 松山 智弘
管理課	
課長	深田 浩
保存活用係長（主幹） 主任主事 主任主事 企画員（兼） 会計年度任用職員調査補助員	仁木 聡 真木 大空 岩崎 孝平 澤田 正明 上山 晶子 岩橋 康子 片寄 雪美

職名	氏名
調査第1課	
課長	林 健亮
主幹 主幹 会計年度任用職員調査員 同 調査補助員	神柱 靖彦 稲田 陽介 阿部 賢治 大田 晴美 幸村 康子
調査第2課	
課長（調査第1係長事取）	東山 信治
主幹 調査第2係長（主幹） 主任主事 主任（再任用） 会計年度任用職員調査員 同 調査補助員	伊藤 智 伊藤 徳広 鈴木 七奈 椿 真治 柳浦 俊一 園山 薫 糸賀 伸文 米田 美江子 飯塚 由起 樋野 千晴 渡邊 真二 角森 玲子 原 英誉 福田 市子 阿部 智子

II 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

令和5年度は近年発掘調査が進む松江城下町遺跡白潟地区に焦点を当てた講演会を、以下の通り開催した。

令和5年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会「松江城下町発掘物語ー白潟の巻ー」

日 時 : 令和5年11月25日(土) 13:00～16:30 (12:00開場)

会 場 : 松江市市民活動センター(STICビル)交流ホール

参加者数: 80名

主 催 : 島根県埋蔵文化財調査センター

共 催 : 松江市

後 援 : 松江城を守る会

内 容 : 基調講演「城下町松江の特徴と白潟町人地の評価」

大矢 幸雄(松江市史編纂委員 絵図・地図部会長)

報告1「橋北地区における松江城下町遺跡の発掘調査」

小山 泰生(松江市立図書館)

報告2「白潟地区における松江城下町遺跡の発掘調査」

東山 信治(島根県埋蔵文化財調査センター)

パネルディスカッション

コーディネーター 西尾 克己(松江市史編纂委員 松江城部会長)

パネラー 大矢 幸雄、小山 泰生、東山 信治

2 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会等を行った。

遺跡名	開催日	場所	参加者	備考
朝酌矢田II遺跡	令和5年7月2日(日)	松江市矢田町	12名	
松江城下町遺跡白潟地区	令和5年7月2日(日)	松江市魚町	18名	
団原III遺跡	令和5年8月11日(金)	松江市大庭町	26名	
船津遺跡(桜谷鉾跡)	令和5年11月3日(金)	江津市松川町	60名	
出雲国府跡	令和5年11月23日(木)	松江市大草町	50名	
松江城下町遺跡白潟地区	令和5年12月17日(日)	松江市魚町	41名	

3 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。今年度は親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部 夏休み子供スペシャル」を2回実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部 連続講座」を2回行った。

【夏休み子どもスペシャル】

内容	実施日	会場	内容	参加者数
徹底解剖！石棺式石室とワークショップ	令和5年8月6日(日)	ガイダンス山代の郷	ペーパークラフトづくり 古墳見学	8名
キミも卑弥呼の鏡を作ろう！	令和5年8月20日(日)	研修室	金属鏡づくり	44名

合計52名

【いにしえ倶楽部連続講座】

演題	実施日	講師	参加者数
石見の古墳 VS 出雲の古墳	令和5年6月17日(土)	吉松優希 (古代文化センター)・松山智弘・ 佐伯昌俊 (益田市教育委員会文化財課)	27名
「石州瓦」の謎を追う	令和6年1月27日(土)	持田直人 (江津市教育委員会社会教育課)・ 熱田貴保	36名

合計63名

4 「ふるさと鳥根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。

番号	貸出セット名(セット番号)	申請者	使用目的	貸出期間
1	縄文狩猟セットA(1)	鳥根県教育センター 仙田浩志	松江市立秋鹿小学校の6年生の社会科学習における 縄文・弥生時代の学習教材として利用	6月20日
	縄文採集セットA(4)			
	縄文土器セットA(6)			
	弥生食卓セットA(12)			
	弥生稲作セットA(15)			
2	弥生稲作セットA(15)	松江市立恵曇小学校	小学校6年生の社会科学習における弥生時代の生活 の学習教材として利用	6月21・22日
3	縄文狩猟セットA(1)	安来市立十神小学校	社会科学習で、縄文時代と弥生時代の生活の 学習教材として利用	6月26日～ 7月7日
	縄文採集セットA(4)			
	縄文土器セットC(8)			
	縄文土器セットE(10)			
	弥生食卓セットB(13)			
	弥生稲作セットA(15)			

合計 3団体 12セット

5 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	奥出雲町立布勢小学校	5月31日(水)	6	14人	奥出雲の古墳時代～地元古墳を探検しよう！～	遺跡見学
2	奥出雲町立八川小学校	6月7日(水)	6	11人	郷土の歴史を学ぼう！～奥出雲町の古墳を探検する～	遺跡見学
3	雲南市立掛合小学校	6月13日(火)	6	18人	掛合の歴史を知ろう	勾玉づくり
4	松江市立乃木小学校	6月19日(月)	6	157人	田和山遺跡を探検する！	遺跡見学
5	松江市立鳥根小学校	6月20日(火)	6	22人	はにわ作り体験と鳥根町の古墳時代	埴輪づくり

II 埋蔵文化財活用事業

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動等
6	江津市立郷田小学校	6月22日(木)	6	16人	地域の歴史と勾玉づくり体験	勾玉づくり
7	大田市立第三中学校	6月28日(水)	1	2人	律令国家とお金	和同開珎づくり
8	松江市立竹矢小学校	6月28日(水)	6	45人	奈良時代の奈良の大仏	大仏パネル
9	島根県立出雲養護学校 大田分教室	6月28日(水)	中学部	13人	古代の人の生活を知り、土器作りを体験しよう	土器づくり
10	飯南町立志々小学校	6月29日(木)	5・6	5人	昔の人々の生活を体験しよう～勾玉作りに挑戦～	勾玉づくり
11	雲南市立立井小学校	6月29日(木)	5・6	4人	勾玉づくりと古代衣装体験	勾玉づくり 古代衣装体験
12	大田市立静間小学校	6月30日(金)	6	10人	古代人(縄文人)の生活を知ろう～土器づくり体験～	土器づくり
13	松江市立持田小学校	6月30日(金)	6	47人	遺跡・建造物・遺跡から古代の技術を知る	勾玉づくり
14	大田市立志学小学校	6月30日(金)	5・6	3人	奈良時代の奈良の大仏	大仏パネル
15	出雲市立四絡小学校	7月4日(火)	6	89人	奈良時代の奈良の大仏	大仏パネル
16	松江市立法吉小学校	7月4日(火)	6	91人	古代人の生活を知ろう	土器づくり
17	雲南市立大東小学校	7月6日(木)	6	41人	土器作り体験と地域の歴史	土器づくり
18	松江市立宍道小学校	7月7日(金)	6	33人	弥生時代、古墳時代を知る	火起こし体験
19	雲南市立西小学校	7月7日(金)	6	18人	火起こし体験	火起こし体験
20	安来市立能義小学校	7月7日(金)	6	10人	古代人の文化に触れてみよう ～土笛づくりを通して見える古代人の生活～	土笛づくり
21	島根県立益田養護学校	7月12日(水)	高等部 2・3	14人	金属鏡作り体験と益田市(島根県)の歴史	金属鏡づくり
22	浜田市立松原小学校	7月13日(木)	6	17人	学校周辺の遺跡と奈良の大仏	大仏パネル
23	奥出雲町立阿井小学校	7月13日(木)	6	14人	銅鏡作り体験と奥出雲町の歴史	金属鏡づくり
24	出雲市立みなみ小学校	7月14日(金)	6	13人	「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い	大仏パネル
25	松江市立古志原小学校	7月14日(金)	6	113人	古志原の歴史を知ろう	火起こし体験
26	松江市立出雲郷小学校	9月5日(火)	6	79人	身近な遺跡について学び、はにわを作ろう	埴輪づくり
27	島根県立石見養護学校	9月7日(木)	小学部 中学部	2人	金属鏡づくり	金属鏡づくり
28	浜田市立雲雀丘小学校	9月29日(金)	6	13人	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル

合計 28 校 のべ参加児童生徒 914 人

6 インターンシップ

学校及び希望者からの依頼を受け、大学生のインターンシップ受け入れを行った。

実施日	学校等	実施内容
8月1日～4日	京都橘大学学生1名・島根大学学生2名	研修・現場の見学・活用事業・整理作業等

7 教員のための博物館の日

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を島根県立古代出雲歴史博物館と共催で年1回開催している。今年度もこれまでと同様に「教員のための博物館の日」として、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：令和5年8月7日(月) 13:00～15:00

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者：8名

内容：13:00～14:00 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明
14:10～15:00 ワークショップ(低融点金属による和同開珎づくり)

8 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時に希望者に対し見学受入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。

(1) 埋文センター見学案内

実施日	見学者(団体)	時間	人数	見学案内	体験活動
令和5年5月22日	竹矢公民館歴史まちづくり部	60分	25名	所内	
令和5年7月25日	川津公民館	60分	23名	所内	
令和5年12月13日	大津コミュニティーセンター	40分	16名	所内	
令和6年2月8日	ポレポレ(生活保護)	60分	6名	所内	勾玉づくり

(2) 発掘調査現場見学案内

実施日	見学者(団体)	時間	人数	場所
令和5年6月15日	松江市立中央小学校	110分	54名	松江城下町遺跡白瀧地区
令和5年10月20日	まつえ市民大学	90分	50名	史跡出雲国府跡

9 職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や発掘調査指導のため職員派遣を行った。

派遣日	内容	場所	派遣依頼者	講師
令和5年4月24日	遺物の鑑定(史跡甲立古墳出土土器)	安芸高田市地域振興事業団文化課	安芸高田市地域振興事業団	松山智弘
令和5年5月27日	白瀧まち歩き楽会研修会	白瀧公民館	白瀧まち歩き楽会	伊藤徳広
令和5年6月21日	展示指導	石見銀山世界遺産センター	大田市教育委員会 教育長	熱田貴保
令和5年 6月24～28日	科学研究費補助金による韓国での 資料調査への参加	国立金海博物館 大成洞古墳博物館 福泉博物館	島根大学法文学部 学部長	真木大空 松山智弘
令和5年6月28日	調査指導	菅谷たたら山内	雲南市教育委員会 教育長	岩崎孝平
令和5年 7月18・19日	西新町遺跡出土の山陰系土器の整理 に関する指導	九州歴史資料館	福岡県教育庁文化財保護課長	松山智弘
令和5年8月18日	写真測量	菅谷たたら山内	雲南市教育委員会 教育長	岩崎孝平
令和5年9月2日	月イチガク 「墓場放浪記～石塔から探る石見の歴史2～」	三瓶小豆原埋没林公園	島根県立三瓶自然館	間野大丞
令和5年9月29日	調査指導	島根県仁多郡出雲町亀嵩	奥出雲町教育委員会 教育長	間野大丞
令和5年10月10日	写真測量	菅谷たたら山内	雲南市教育委員会 教育長	岩崎孝平
令和5年12月 7・8・14・15日	写真測量	大社基地遺跡群地下壕	島根大学法文学部 岩本 崇	岩崎孝平
令和5年12月16日	博物館実習ゲストスピーカー	関西大学博物館	関西大学博物館 館長	鈴木七奈
令和6年1月13日	見る・知る・ふれる文化財講座 「明神古墳－調査の軌跡と歴史的価値－」	仁万まちづくりセンター	大田市教育委員会 教育長	仁木 聡
令和6年1月20日	法文学部専門科目『考古学実習Ⅰ』・ 『考古学実習Ⅱ』における3次元計測の講師	島根大学松江キャンパス	島根大学法文学部 学部長	岩崎孝平
令和6年2月25日	史跡見学講師	島根県大田市仁摩町宅野	宅野まちづくりセンター長	間野大丞
令和6年3月16日	かしまの歴史・文化を学ぶ会 令和5年度総会・講演会講師	鹿島ふれあい館	かしまの歴史・ 文化を学ぶ会会長	椿 真治
令和6年3月25日	遺跡・出土品の3次元計測について	出雲弥生の森博物館	出雲市長	岩崎孝平

10 その他

①くにびきメッセ30周年イベント「みらいキッズラボ」への参加

- 主 催：くにびきメッセ周年記念イベント実行委員会
 （くにびきメッセ、島根県、TSK さんいん中央テレビ、山陰中央新報社）
- 期 日：令和5年10月7日（土）・8日（日）
- 会 場：くにびきメッセ
- 内 容：勾玉づくり体験

②古志原小学校保護者会「親子古代体験学習」への参加

- 主 催：松江市立古志原小学校保護者会3年部
- 期 日：令和5年11月18日（土）
- 会 場：松江市立古志原小学校 体育館
- 内 容：勾玉づくり体験

③古墳の丘古曾志公園文化まつりへの参加

- 主 催：株式会社M I しまね
- 期 日：令和5年3月16日（土）
- 会 場：古墳の丘古曾志公園
- 内 容：勾玉づくり体験

11 資料の貸出・調査等

（1）資料調査（令和5年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

【令和4年度1～3月】

番号	資料名	点数	申請者	調査日
1	古屋敷遺跡出土石器ほか	39	埋蔵文化財調査センター職員	1月10日～31日
2	岩塚II遺跡出土器ほか	101	埋蔵文化財調査センター職員	1月16日～31日
3	布田遺跡出土玉作関連資料	31	古代出雲歴史博物館職員	1月7日
4	富田川河床遺跡出土金属製品	6	古代出雲歴史博物館職員	2月9日
5	松林寺遺跡出土土製品	1	文化財課世界遺産室職員	2月13日
6	来美廃寺出土瓦	4	荒神谷博物館職員	2月17日
7	正源寺遺跡出土石器ほか	29	明治大学教授	2月22日
8	西百塚山2号墳出土埴輪ほか	9	奈良文化財研究所職員	2月28日
9	西川津遺跡出土骨角器	2	あいち朝日遺跡ミュージアム職員	3月2日
10	堂ノ上遺跡出土土器	4	埋蔵文化財調査センター職員	3月3日～10日
11	尼寺原遺跡出土瓦	8	古代文化センター職員	3月7日
12	クボ山遺跡出土炉壁	2	古代文化センター職員	3月9日
13	富田川河床遺跡出土陶磁器	83	松江市松江城・史料調査課職員	3月11日
14	面白谷遺跡出土玉作関連資料ほか	96	山口大学文学部学生	3月16日～18日
15	西川津遺跡出土土製品	9	山口大学文学部学生	3月16日～18日
16	山持遺跡出土土器ほか	99	埋蔵文化財調査センター職員	3月20日～22日
17	山持遺跡出土土器ほか	97	埋蔵文化財調査センター職員	3月23日～31日
18	島田池遺跡出土金属製品	1	八雲立つ風土記の丘職員	3月30日

【令和5年度4月～12月】

番号	資料名	点数	申請者	調査日
19	大垣大塚古墳出土埴輪ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	4月11日～5月31日
20	山代方墳出土埴輪ほか	42	文化財課職員	5月1日
21	庵寺古墳群出土鉄製品ほか	26	古代文化センター職員	5月1日・2日
22	二宮C遺跡出土土器ほか	4	古代文化センター職員	5月1日・2日
23	塩津山古墳群出土土器	29 + 3箱	埋蔵文化財調査センター職員	5月2日～6月30日
24	庵寺古墳群出土鉄製品ほか	26	古代文化センター職員	5月15日・16日
25	平所遺跡土器ほか	163	古代文化センター職員	5月17日～8月31日
26	門遺跡出土土器ほか	71	古代文化センター職員	5月19日～8月31日
27	山持遺跡出土石器ほか	18	福岡大学名誉教授	5月20日
28	馬場遺跡出土鉄製品	5	九州歴史資料館職員	5月25日～27日
29	山持遺跡出土土器	3	埋蔵文化財調査センター職員	5月26日～6月22日
30	タテチョウ遺跡出土土器ほか	150	ジョージ・ワシントン大学研究員	5月29日
31	冲手遺跡出土陶磁器ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	6月8日～9日
32	山持遺跡出土土器ほか	54	出雲弥生の森博物館職員	6月12日
33	春日シヌン谷遺跡出土土器	6	荒神谷博物館職員	6月14日
34	原田遺跡出土石器ほか	78	八雲立つ風土記の丘職員	6月15日
35	涼見E遺跡出土土器	1 + 1箱	古代文化センター職員	6月19日・20日
36	出雲国府跡出土鉄製品ほか	24	八雲立つ風土記の丘職員	6月30日
37	森原下ノ原遺跡出土石製品	1	京都大学大学院学生	6月30日
38	塩津山古墳群出土土器	29 + 3箱	埋蔵文化財調査センター職員	6月30日～8月10日
39	富田川河床遺跡出土金属製品	410	古代文化センター職員	7月3日
40	スクモ塚古墳出土埴輪	18 + 1箱	益田市文化財課職員	7月3日～12月29日
41	富田川河床遺跡出土金属製品	1187	古代文化センター職員	7月14日
42	富田川河床遺跡出土金属製品	410	古代文化センター職員	7月20日
43	富田川河床遺跡出土金属製品	1	古代文化センター職員	7月20日
44	兵庫遺跡出土土器ほか	12	古代出雲歴史博物館職員	7月28日
45	面白谷遺跡出土土器ほか	73	埋蔵文化財調査センター職員	8月1日～31日
46	堂床遺跡出土玉作関連資料	214	京都府立大学学生	8月7日～10日
47	サルガ鼻洞窟遺跡出土土器	69	埋蔵文化財調査センター職員	8月7日～9月15日
48	面白谷遺跡出土玉作関連資料ほか	37	鳥取県立博物館職員	8月15日
49	富田川河床遺跡出土金属製品	4	古代文化センター職員	8月18日～22日
50	山持遺跡出土土器ほか	14	小郡市埋蔵文化財調査センター職員	8月24日
51	青木遺跡出土土器ほか	5	古代吉備文化財センター	8月25日
52	面白谷遺跡出土玉類ほか	333	古代文化センター職員	8月25日
53	出雲国府跡出土玉作関連資料ほか	115	京都府立大学学生	8月29日～31日
54	日脚遺跡出土石器ほか	167	広島大学大学院学生	9月6日～8日 9月19日～21日
55	出雲国府跡出土土器ほか	21	古代文化センター職員	9月14日
56	富田川河床遺跡出土金属製品	1229	古代文化センター職員	9月15日
57	坂本谷遺跡出土金属製品ほか	8	古代文化センター職員	9月15日
58	東船遺跡出土石器ほか	4	個人	9月21日
59	榎ヶ峠遺跡出土土製品ほか	31	出雲市文化財課職員	9月22日
60	五反配遺跡出土木製品	1	東京大学大学院学生	9月26日
61	平ノ前遺跡出土土器	3	出雲弥生の森博物館職員	9月27日
62	森原下ノ原遺跡出土石器ほか	600	文化庁職員	9月28日
63	三田谷I遺跡出土土器ほか	17	高知大学准教授	9月28日
64	門遺跡出土製鉄関連遺物ほか	54	東京理科大学助教	9月29日
65	西川津遺跡出土動物遺存体	一式	名古屋大学博物館准教授	10月9日・10日

II 埋蔵文化財活用事業

番号	資料名	点数	申請者	調査日
66	岩屋口北遺跡出土鉄製品ほか	2	広島大学学生	10月10日・11日
67	五丁遺跡出土土器ほか	8	愛媛大学准教授	10月12日～13日
68	山持遺跡出土木製品ほか	10	古代出雲歴史博物館職員	10月16日
69	板屋Ⅲ遺跡出土土器ほか	85	広島大学大学院学生	10月17日～19日 10月24日～26日
70	社日1号墳出土土器ほか	7	三重県埋蔵文化財センター職員	10月19日
71	宮尾Ⅲ遺跡出土土器ほか	139	古代文化センター職員	10月24日
72	大角山遺跡出土土玉作関連資料ほか	25	茨城大学学生	10月25日～27日
73	タテチョウ遺跡出土土器ほか	16	島根大学学生	10月27日
74	川平Ⅰ遺跡出土土器ほか	139	埋蔵文化財調査センター職員	11月1日～
75	山持遺跡出土土器ほか	13	福岡市埋蔵文化財センター職員	11月4日
76	出雲国府跡出土土玉作関連資料ほか	20	京都府立大学学生	11月13日
77	西川津遺跡出土動物遺存体	8箱	名古屋大学博物館准教授	11月20日～22日
78	上野Ⅱ遺跡出土鉄製品	30	愛媛県埋蔵文化財センター職員	11月24日
79	西川津遺跡土器ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	11月27日～12月15日
80	山持遺跡出土土器ほか	116	埋蔵文化財調査センター職員	11月27日～12月1日
81	神原Ⅰ遺跡出土土器ほか	64	個人	12月6日
82	西川津遺跡出土木製品ほか	33	島根大学学生	12月7日
83	馬場遺跡出土金属製品	54	八雲立つ風土記の丘職員	12月11日
84	古志本郷遺跡出土土器ほか	55	古代文化センター職員	12月18日
85	門生山根1号窯出土土器ほか	20	埋蔵文化財調査センター職員	12月22日～26日
86	西川津遺跡出土土製品ほか	16	出雲弥生の森博物館職員	1月11日
87	中竹矢遺跡出土瓦ほか	10	八雲立つ風土記の丘職員	1月19日

(2) 写真資料等（令和5年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【令和4年度1月～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	2	出西地区自治協会	書籍掲載	1月10日
2	上野1号墳出土土玉類	1	大日本図書株式会社	教科書掲載	1月16日
3	西川津遺跡出土植物遺体	1	物質文化研究所一芦舎	書籍掲載	1月23日
4	荒神谷遺跡出土銅剣ほか	2	株式会社新泉社	書籍掲載	1月31日
5	荒神谷遺跡出土銅剣	1	株式会社オクタゴン	テレビ番組	1月31日
6	出雲国府跡調査状況写真	11	八雲立つ風土記の丘	動画配信	2月1日
7	西川津遺跡出土土器	1	新潟県立歴史博物館	学会発表要旨掲載	2月1日
8	青木遺跡調査状況ほか	3	個人	論文掲載	2月2日
9	出雲国府跡調査状況写真ほか	16	出雲弥生の森博物館	企画展	2月16日
10	荒神谷遺跡出土銅剣ほか	3	有限会社アート・エフ	書籍掲載	2月21日
11	山代郷北新造院出土瓦	2	荒神谷博物館	ミニスポット展	2月24日
12	原田遺跡出土旧石器ほか	7	松江市松江城・史料調査課	書籍掲載	3月10日
13	荒神谷遺跡俯瞰	1	出雲市文化財課	整備改修事業報告書掲載	3月13日
14	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	株式会社山川出版社	教材データ公開サイト掲載	3月13日
15	西川津遺跡出土骨角器実測図	4	個人	論文掲載	3月16日
16	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	株式会社世界思想社教学社	書籍掲載	3月20日
17	西川津遺跡出土炭化米ほか	3	松江市松江城・史料調査課	書籍掲載	3月20日
18	シコノ谷遺跡出土動物遺体	96	個人	論文掲載	3月22日

【令和5年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
19	青木遺跡出土銅鐸片ほか	9	株式会社新泉社	書籍掲載	4月4日
20	青木遺跡調査状況ほか	2	株式会社八木書店出版部	書籍掲載	4月4日
21	今佐屋山遺跡整備状況	1	株式会社新泉社	書籍掲載	4月20日
22	西川津遺跡出土骨角器	1	あいち朝日遺跡ミュージアム	企画展	5月8日
23	下山遺跡出土土製品	1	株式会社ABCアーケ	雑誌掲載	5月22日
24	シコノ谷遺跡出土動物遺体ほか	7	山陰中央新報社	書籍掲載	5月24日
25	荒神谷遺跡出土青銅器	1	個人	書籍掲載	6月7日
26	加茂岩倉遺跡出土銅鐸群ほか	12	荒神谷博物館	特別展	6月12日
27	タテチョウ遺跡出土土器ほか	26	個人	書籍掲載	6月22日
28	西川津遺跡出土動物遺体	20	個人	ポスター掲載	6月29日
29	荒神谷遺跡出土銅矛	1	The IKUTA PRESS	書籍掲載	7月11日
30	出雲国府跡出土土製品ほか	6	八雲立つ風土記の丘	特別展	7月12日
31	富田川河床遺跡調査状況	1	個人	講座資料掲載	7月13日
32	二宮C遺跡調査状況ほか	8	古代文化センター	講座広報ほか	7月27日
33	埋蔵文化財センター風景ほか	6	古代文化センター	HP掲載	7月26日
34	山代方墳調査状況ほか	12	島根県文化財課	HP掲載	8月3日
35	島田池遺跡出土土器ほか	2	株式会社クリエイティブ・スイート	書籍掲載	8月4日
36	荒神谷遺跡出土銅鐸	1	株式会社悠工房	書籍掲載	8月29日
37	団原III遺跡出土石器	2	八雲立つ風土記の丘	雑誌掲載	9月12日
38	森原下ノ原遺跡土層堆積状況	1	個人	ポスター掲載	9月13日
39	朝酌川遺跡群出土土製品	1	石狩市教育委員会	企画展	9月13日
40	五反配遺跡調査状況ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	研究発表	9月13日
41	五反配遺跡調査状況ほか	3	古代出雲歴史博物館職員	研究発表	10月13日
42	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	株式会社山川出版社	書籍掲載	11月1日
43	鉄穴内遺跡出土鍛冶関連遺物	1	株式会社平凡社	書籍掲載	11月2日
44	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	ダイレクト出版株式会社	書籍掲載	11月6日
45	板屋III遺跡出土土器ほか	13	株式会社雄山閣	書籍掲載	11月28日
46	大堤II遺跡出土土器ほか	2	古代文化センター職員	新聞連載	11月28日
47	松江城下町遺跡白潟地区調査状況	4	松江市立図書館職員	研究発表	11月29日
48	面白谷遺跡出土玉類	4	鳥取県立博物館	企画展	12月8日
49	荒神谷遺跡調査状況	1	古代文化センター職員	カレンダー掲載	12月8日
50	五反配遺跡調査状況	5	個人	書籍掲載	12月13日
51	荒神谷遺跡調査状況	10	荒神谷博物館	広報ほか	12月20日
52	荒神谷遺跡調査状況	2	出雲市文化財課	看板掲載	12月21日
53	荒神谷遺跡調査状況	1	出雲市文化財課	看板掲載	12月28日
54	古志本郷遺跡出土土器ほか	2	島根県文化財課世界遺産室職員	論文掲載	12月26日

(3) 資料貸出 (令和4年1月4日～12月28日までに申請があったもの)

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出しを行っている。

【令和4年度1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	仲仙寺2号墳出土鉄製品	7	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	1月26日～7月14日
2	布田遺跡出土玉作関連資料	19	古代出雲歴史博物館	常設展	2月1日～3月31日
3	門生黒谷II遺跡出土陶磁器ほか	71	出雲弥生の森博物館	企画展	2月20日～6月12日
4	来美廃寺出土瓦	4	荒神谷博物館	ミニスポット展	2月22日～10月13日
5	布志名焼窯跡群出土陶器ほか	9	出雲玉作資料館	企画展	3月15日～5月19日

II 埋蔵文化財活用事業

【令和5年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
6	荒神谷遺跡出土土器ほか	12	荒神谷博物館	常設展	4月1日～3月31日
7	大東高校グラウンド遺跡出土土未製品	4	出雲玉作資料館	常設展	4月1日～3月31日
8	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	4月1日～3月31日
9	才の峠遺跡出土須恵器ほか	613	八雲立つ風土記の丘	常設展	4月1日～3月31日
10	古志本郷遺跡出土土器ほか	280	出雲弥生の森博物館	常設展	4月1日～3月31日
11	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	島根県立三瓶自然館	常設展	4月1日～3月31日
12	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
13	今佐山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展	4月1日～3月31日
14	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
15	原田遺跡出土石斧ほか	1574	古代出雲歴史博物館	常設展	4月1日～3月31日
16	スクモ塚古墳出土埴輪	18 + 1箱	益田市教育委員会	資料調査	7月3日～12月29日
17	西川津遺跡遺跡出土骨角器	2	あいち朝日遺跡ミュージアム	企画展	7月10日～9月30日
18	山持遺跡出土土器ほか	54	古代出雲歴史博物館	企画展	7月29日～10月23日
19	春日シヌノ谷遺跡出土土器	6	荒神谷博物館職員	企画展	6月27日～10月13日
20	原田遺跡出土石器ほか	80	八雲立つ風土記の丘	企画展	6月30日～9月1日
21	団原Ⅲ遺跡出土旧石器ほか	9	八雲立つ風土記の丘	速報展	8月11日～10月3日
22	出雲国府跡出土鉄製品ほか	24	八雲立つ風土記の丘	特別展	9月1日～12月18日
23	面白谷遺跡出土土玉作関連資料ほか	37	鳥取県立博物館	企画展	9月8日～11月28日
24	半田浜西遺跡出土陶器ほか	11	江津市教育委員会	講演資料	9月29日～10月2日
25	平ノ前遺跡出土土器	3	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	10月16日～2月29日
26	馬場遺跡出土金属製品	53	八雲立つ風土記の丘	企画展	12月21日～3月
27	兵庫遺跡出土土器ほか	18	古代出雲歴史博物館	企画展	2月26日～6月

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出しに応じている。

【令和4年度1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間

【令和5年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	棒やすり	15	松江市立恵曇小学校	社会科学習(勾玉づくり)	6月20日～23日
2	棒やすり	25	松江市立恵曇小学校	総合学習・図工(勾玉づくり)	10月26日～30日
3	彫刻刀(U字)	10	古代出雲歴史博物館	博物館秋祭り	10月30日～11月10日

(5) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アクセス数	2,844	2,213	2,558	2,843	2,451	2,171	2,125	2,156	2,144	2,350	2,346	2,000	28,201

Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細業	当センターの担当者
考古基礎資料調査研究事業：墓制調査	①前期古墳調査 ②横穴式石室の基礎研究	東山・仁木・伊藤（徳）・岩崎・鈴木
考古基礎資料調査研究事業：基礎資料収集調査	出土品再整理	深田・稲田・椿・真木
考古基礎資料調査研究事業：生産遺跡調査	①古代窯業生産 ②近世近代在地陶磁器調査	間野・仁木・上山
風土記調査研究事業	風土記景観復元調査	林
テーマ研究	古代隠岐の形成と特質	神柱
	島根県域における弥生社会の総合的研究	深田・宮本・真木・鈴木・上山
	前期古墳の研究	仁木・伊藤（徳）・椿
	鋳物と鋳物師の研究	東山
	律令制下における地方行政の研究	岩崎

Ⅳ 研修事業

1 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は下記のとおり実施した。

【埋蔵文化財基礎講座】

日 時：令和5年4月17日（月）～4月21日（金）

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室、いにしえ学習館体験学習室ほか

参 加：松江市埋蔵文化財調査課1名、合計1名

講 師：島根県教育庁文化財課職員及び埋蔵文化財調査センター職員

内 容：（1）島根県埋蔵文化財調査センター所長講話

（2）文化財保護法行政の歩みと文化財行政の現状

（3）埋蔵文化財保護行政の事務手続き

（4）発掘調査に関連した諸科学

（5）考古学概説Ⅰ 旧石器時代・縄文時代

（6）考古学概説Ⅱ 弥生時代

（7）考古学概説Ⅲ 古墳時代

（8）考古学概説Ⅳ 奈良・平安時代

（9）考古学概説Ⅴ 中近世

（10）遺構・遺物の実測概論・実習

（11）文化財写真概論・実習

（12）報告書の作成と収蔵・活用

IV 研修事業

(13) 発掘調査の計画と安全管理

【実技講座Ⅰ】

日 時：令和5年6月8日(木)・6月9日(金)

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室、堀部1号墳、松江城下町遺跡白濁4A区

参 加：松江市埋蔵文化財調査課1名 合計1名

講 師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 測定の基礎・土層の認識

(2) 実測実習Ⅰ レベル・トータルステーション・平板の取扱い

(3) 実測実習Ⅱ 遺構測量

(4) 実測実習Ⅲ 調査現場での遺構図・3D実測図等作成

(5) 実測実習Ⅳ 調査現場での遺構図・3D実測図等作成

【実技講座Ⅱ】

日 時：令和5年6月1日(木)～12月28日(金) うち21日間参加

場 所：船津遺跡(江津市松川町)

参 加：江津市教育委員会1名

講 師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：発掘調査現場での現地実習

【実技講座Ⅲ】

日 時：令和5年1月22日(月)・1月23日(火)

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：松江市埋蔵文化財調査課1名、海士町町教育委員会1名 合計2名

講 師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 報告書作成の意義

(2) 報告書の構成と記載事項

(3) 発掘記録類の基礎整理

(4) 遺物の実測実習(鉄器)

(5) DTPによる報告書作成の基礎知識

(6) 報告書作成の技術Ⅰーデジタルトレースと図版作成実習ー

(7) 報告書作成の技術Ⅱー写真図版の作成と編集作業の実習ー

(8) 報告書の印刷

2 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第1回】

日 時：令和5年7月7日(金) 13:30～16:10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員9名(うちオンライン受講5名)

テーマ：デジタル技術を活用した発掘調査・報告書作成の実践例

報告1 「「文化財三次元計測入門課程」の研修報告」

森山優花（松江市埋蔵文化財調査課 学芸員）

報告2 「デジタル技術を活用した遺構・遺物計測の実践例」

岩崎孝平（島根県埋蔵文化財調査センター 主任主事）

【第2回】

日 時：令和5年9月8日（金） 13：30～16：10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者：市町村職員3名（うちオンライン受講2名）

テーマ：弥生土器からみた出雲の地域交流について

－島根県古代文化センター・テーマ研究事業「古代出雲と吉備の交流」成果報告－

報告1 「西谷以前の出雲と吉備」

真木大空（島根県埋蔵文化財調査センター 主任主事）

報告2 「出雲地方出土の吉備系土器について」

池淵俊一（島根県古代文化センター センター長）

【第3回】

日 時：令和6年2月5日（月） 13：30～15：30

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者：市町村職員5名（うちオンライン受講2名）

テーマ：動物依存体の扱い・整理・分析・活用の方法

報告1 「西川津遺跡の動物遺存体再整理」

真木大空（島根県埋蔵文化財調査センター 主任主事）

解説・演習「動物遺存体の扱い・整理の方法」

吉永亜紀子（総合研究大学院大学）

【第4回】

日 時：令和6年3月8日（金）10:00～16:30

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員8名（うちオンライン受講4名）

テーマ：令和5年度 県内遺跡発掘調査報告会

報告1 「松江市・史跡出雲国府跡の調査」岩崎孝平（島根県埋蔵文化財調査センター 主任主事）

報告2 「松江市・松江城下町遺跡白潟地区の調査」伊藤徳広（同 調査第二係長）

報告3 「松江市・団原Ⅲ遺跡の調査」伊藤 智（同 主幹）

報告4 「江津市・船津遺跡の調査」稲田陽介（同 主幹）

報告5 「松江市・出雲国分寺瓦窯の調査」三宅和子（松江市埋蔵文化財調査課 文化財副主任）

報告6 「出雲市・結西谷Ⅳ遺跡・結本谷古墳群の調査」下江裕貴（出雲市文化財課 主事）

報告7 「大田市・川合神社周辺遺跡の調査」中田健一（大田市教育委員会石見銀山課 課長補佐）

報告8 「鳥取県埋蔵文化財センター・R5年度調査研究事業報告」西川 徹

（鳥取県埋蔵文化財センター 企画研究担当 係長）

V 会議・講習会等参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、研修会に参加した。
また、中国・四国・九州ブロック会議に参加した。

【総会】

開催日：令和5年6月8日（木）・9日（金）
開催地：鹿児島市 鹿児島サンロイヤルホテル

【研修会】

開催日：令和5年10月19日（木）・20日（金）
開催地：香川県高松市 香川県立ミュージアム

【中国・四国・九州ブロック会議】

開催日 令和5年12月1日（木）・2日（金）

開催地 大分県立埋蔵文化財調査センター

参加者 12 機関 14 名（島根県を除く）

議 事 1 役員について

2 次回ブロック会議開催地について

3 協議事項

- ・5類移行後のイベント開催のあり方について
- ・収蔵庫での出土品の公開について
- ・赤色立体地図活用について
- ・埋蔵文化財に係る破壊分析の年間照会件数について
- ・埋文写真のデジタル化について
- ・保存処理関連機器の更新等について
- ・収蔵・管理する出土品における閲覧者本人作成の遺物実測図・写真・3Dデータ等の取扱いについて
- ・発掘調査中止による休業補償について
- ・ベルトコンベアの安全対策について
- ・発掘調査支援委託における変更・精算について
- ・館外展示の管理や活用事例について
- ・工事届等埋蔵文化財事務の分掌について（県機関のみ）
- ・活用事業の実施に係る他機関との連携について
- ・近世遺跡の取り扱いについて
- ・発掘作業員の確保、後継者不足に関する対策について
- ・AI-OCRを導入した実測図の一覧表化について
- ・外国人来館者向けの対応について
- ・学生・生徒の研修受け入れや 学生ボランティアの活用について
- ・製図用ペン（ロットリング）等の一部生産中止への対応について
- ・熱中症対策の予算上の取り組みについて

- ・発掘調査を要する範囲の基本的な考え方について
- ・作業員に作業内容や安全意識を呼びかける資料を作成しているか
- ・現場写真のフィルムからデジタルへの移行について

施設見学：国指定史跡大友氏館跡・南蛮 BVNGO 交流館・大友氏館跡発掘調査現地を視察

【埋蔵文化財担当職員等講習会】

開催日：令和6年1月31日（水）

開催地：島根県埋蔵文化財調査センター（オンライン）

VI 発掘調査事業

受託事業

令和5年度は3事業4遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は江の川改修事業および大橋川改修事業、県事業の国道432号大庭バイパス建設事業である。

江の川改修予定地内では、江津市船津遺跡（桜谷鉦跡）で江戸時代から明治時代前半にかけて操業されたたたら製鉄の高殿跡等を調査した。大橋川改修予定地内では、朝酌地区の松江市朝酌矢田Ⅱ遺跡F区で平安時代末から鎌倉時代にかけての柱穴群を確認した。白潟地区の松江城下町遺跡白潟4A区では、江戸時代後期の町屋跡を確認した。松江城下町遺跡白潟3A区では、江戸時代の町屋跡とともに大型礎石建物跡を確認し、松江城下町の経済・交通の様相を知る上で注目される。

大庭バイパス建設予定地内では、団原Ⅲ遺跡で旧石器時代の台形様石器が出土した。

学術調査

史跡出雲国府跡では政庁域東側の調査をおこなった。推定された遮へい施設の痕跡は確認できなかったものの、8世紀後半から9世紀の整地土を確認した。また、地山の検出により意宇平野の形成過程の一端が明らかになるなど、政庁域の占地や大規模な改修の様相を検討するうえで重要な資料を得ることができた。

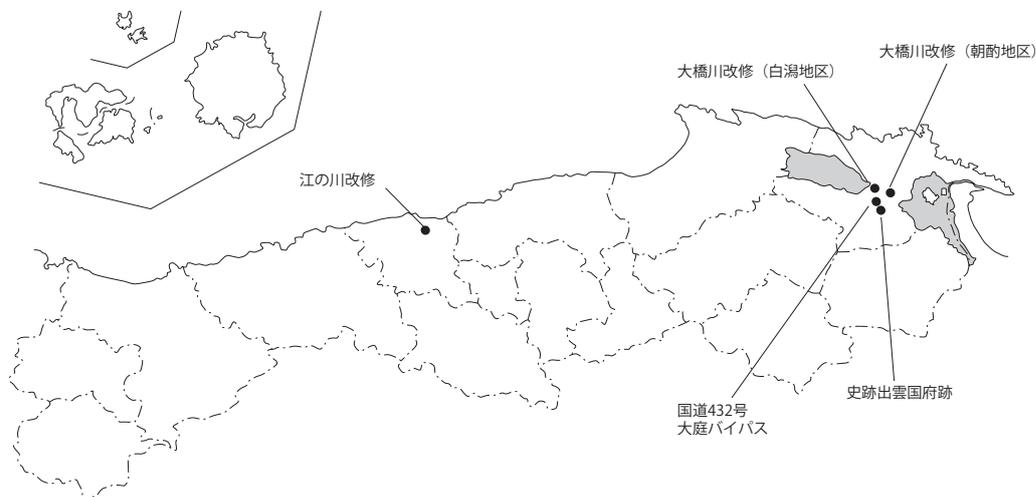
墓制調査では、松江市鹿島町堀部1号墳の測量調査を実施し、全長約70mの前方後円墳である可能性が高まった。また、松江市大草町・八雲町の才光寺K113号墳の測量調査や松江市八雲町の雨乞山古墳の三次元計測をおこない、導入期の横穴式石室や石棺式石室の構造に関する重要な成果を得ることができた。

試掘・分布調査

令和5年度は、益田西道路・益田田万川道路建設予定地内、浜田道路4車線化事業地内、江の川改修事業地内、松江北道路建設予定地内の試掘調査および分布調査を実施した。

報告書作成

今年度は、江の川改修事業の本田窯跡および千本崎城跡、大庭バイパス建設事業の団原Ⅲ遺跡、安来道路4車線化事業の五反田1号墳および門生黒谷Ⅲ遺跡の調査報告書を刊行した。



令和5年度 発掘調査箇所位置図

1 一級河川江の川直轄河川改修事業（太田地区）に伴う発掘調査

船津遺跡（桜谷鉦跡）

事業概要 この調査は、国土交通省中国地方建設局浜田河川国道事務所から委託を受けて平成29年度から実施している。今年度は桜谷鉦跡の発掘調査を行った。

調査概要 船津遺跡（桜谷鉦跡）は江津市松川町に所在する遺跡で、江の川右岸の標高約8mに位置する。調査期間は令和5年6月13日から令和6年1月19日で、調査対象面積は約700㎡、調査員2名、会計年度任用職員調査補助員1名で実施した。



船津遺跡（桜谷鉦跡）位置図

遺構の概要 船津遺跡（桜谷鉦跡）は江戸時代から明治時代前半に操業したと推定される製鉄遺跡で、製鉄炉の地下構造とその高殿跡などからなる。地下構造は本床の下部以下の部分が良好に残存していた。このことにより、地山を削平・掘削し、盛土を行い地下構造の構築を行った過程が明らかとなった。本床の両脇には上小舟が設けられており、その下部に設けられた小舟4本の火渡しによって連結されている。地下構造の最下部には石列が複数の列を成しており、石列の間には空洞が設けられている。地下構造の南北で、1基ずつ跡坪を検出した。跡坪は操業前に小舟等を燃焼するために掘られる作業用の施設であり、焚口や上小舟と小舟をつなぐ瓢箪や煙道、礫や鉄滓を張った壁面などを確認した。

高殿関連の遺構としては押立柱の礎石および柱痕、2基の炭町などを確認した。また、高殿の敷地の縁辺では、敷地の裾をめぐるように石列を検出している。

遺物の概要 鉄滓や炉壁片、砂鉄、木炭などの製鉄関連遺物や土器類、石製品などが出土した。

まとめ 船津遺跡（桜谷鉦跡）の調査では、土層の堆積状況の検討から地下構造の構築過程を明らかにすることができた。また、瓢箪などの諸施設の検出により、製鉄炉の地下構造全体を乾燥させる構造についても把握することができた。桜谷鉦は経営者である石田春律の著した「金屋子縁起抄」に記述がある著名な製鉄遺跡である。また、江の川流域地域での製鉄炉の全面調査は今回が初の調査となった。このような点みても今回の調査成果は当地域の製鉄の伝播や変遷などを検討するうえで重要な資料を追加するものといえる。

（神柱靖彦）



船津遺跡（桜谷鉦跡）遠景



地下構造断面

2 斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受け、平成 24～25 年度にかけて竹矢地区で、平成 30 年度から朝酌町地区、令和 3 年度から上流部の白潟地区でも調査を開始した。今年度は朝酌地区で朝酌矢田Ⅱ遺跡、白潟地区で松江城下町遺跡 2 か所の発掘調査をおこなった。



(1) 朝酌矢田Ⅱ遺跡 (F 区)

遺跡位置図

調査の概要 現地調査は、令和 5 年 5 月 8 日から 7 月 13 日まで、面積 300㎡を対象に調査員 1 名、調査補助員 2 名で実施した。

遺構等の概要 調査地は矢田の渡しの東側にある丘陵上に位置している。もとは東に向かって下る緩斜面であったが、近世以降に段々畑として造成、さらに昭和期に段を埋め立てて平坦な畑地として造成されている。

本遺跡では、近世の造成土の下に 3 つの時期の遺物包含層が堆積しており、上層が平安時代末～中世、中層が古墳時代後期～奈良時代、下層が弥生時代末～古墳時代前期の遺物を伴っている。上層および上層に伴う遺構面では、平安時代末～中世の遺構・遺物を確認した。調査区東側では遺構・遺物が多く分布しており、加工段に伴う排水溝（または壁体溝）の可能性がある L 字型の溝も確認した。このことから、F 区では当該期に集落が存在したと考えられる。

中層・下層は調査区の東側にのみ堆積しており、これに伴う明確な遺構は検出することができなかった。下層は 5～15 cm 程度の礫を多く含み、出土した土器が磨滅していることから、丘陵上部からの流れ込みによって堆積したと考えられる。遺物の量が多いことから、斜面上方に当該期の集落が存在した可能性がある。

まとめ F 区で見つかった平安時代末～鎌倉時代前葉（11 世紀～12 世紀）の集落跡は、C 区で検出された朝酌渡に関連すると考えられる石敷き護岸施設の廃絶（10 世紀前半）後のものである。朝酌地域において当該期の集落が見つかったのは今回が初めてである。朝酌および周辺地域の中世の様相を窺い知る、手掛かりとなる成果が得られた。

（鈴木 七奈）



朝酌矢田Ⅱ遺跡 F 区全景



平安時代末～中世の遺構面

(2) 松江城下町遺跡（白潟本町 75-6 番地外）（八軒屋町 1 番地外）

調査の概要 松江城下町遺跡白潟 3A 区は松江大橋南詰東側に位置している。調査区の地表面は標高 3.0m ほどで、調査区の北には大橋川が東流し、調査区との間に市道が東西に延びる。調査区の西には松江大橋につながる県道母衣町雑賀町線が南北に走っている。

調査区内には白潟本町と八軒屋町の町境が存在し、境界の西側は白潟本町 75-6 番地外で、東側が八軒屋町 1 番地外となる。遺跡の登録は町単位となっているため、便宜上、調査は 2 つの遺跡を合わせて「白潟 3A 区」として実施した。なお、今回の発掘調査は上層のみを対象としており、下層の発掘調査は次年度実施する予定である。

遺構の概要 本地区は、江戸時代以降商家や町屋が形成されていた地点にあたり、同じ場所で建物の建て替えが頻繁に行われている。特に幕末以降の土層については複雑な土層の堆積が見られる。基本層序と年代は以下のとおりとなる（第 3 図・第 4 図）。上から 1 層：表土、2 層：幕末から近代の堆積土、3 層：17 世紀中頃から後半の盛土、4 層：17 世紀前半の焼土や炭化物を含む整地土、5 層：17 世紀前半から以前の砂質土に大別される。なお、今回の発掘調査で対象としたのは 4 層上面までである。令和 2 年度の試掘調査では、標高 0.8m から白潟砂州と考えられる灰黄色砂層が確認されている。今回の発掘調査では最も低い部分でも標高 1.4m までしか掘削できておらず、白潟砂州の堆積を確認することはできなかった。

遺構面は 3 面確認された。上から、第 1 遺構面は幕末から近代、第 2 遺構面は 17 世紀後半、第 3 遺構面は 17 世紀前半にあたるものと考えられる（第 3 図・第 4 図）。

第 1 遺構面は地表面から 80cm ほど下方の 2 層上面で確認されている。主な遺構としては多数の石列や板石敷きを検出した。石列や板石敷きは東西南北に軸がほぼ合致しており、現在の地割とほぼ同じ方向を示している。板石の下には断面が U 字となる石材が埋められていた。これは排水のための水路と考えられる。石列と板石は来待石で作られているものが多く、水路の石材は来待石と荒島石であった。水路の結節地点には石製の溜桝が 2 か所で確認されている。石列は町屋建物の壁の基礎と考えられ、水路と溜桝は、町屋建物の屋根から落ちる雨水を受けて排出するためのものと考えられる。

第 2 遺構面は、3 層とする 17 世紀中頃から後半の盛土の上面で確認された。盛土層は第 3 遺構面を覆うように厚く堆積しており、最も厚い部分で 60cm にもなる。盛土に含まれる遺物は 17 世紀中頃までの陶磁器で 17 世紀後半の遺物を含まない。第 2 遺構面に伴う出土遺物の時期が 17 世紀後半以降であることから、盛土は 17 世紀中頃から後半に施されたと考えられる。

第 2 遺構面の主な遺構は大型礎石建物跡 1 棟、石列 2 条である。大型礎石建物跡は黄色系の盛土層が広がっている調査区の北側で確認されている。建物の規模は検出した範囲で東西 9.5m、南北 5m あり、調査区外へ広がっている可能性がある。礎石は 11 か所で確認された。直径が 1 m を超える大型の石材も 2 か所で確認された。石材は大海崎石と流紋岩と考えられる。いくつかの礎石の下部で盛土層を含む地層が大きく褶曲している状況を確認した（第 4 図）。地質の専門家からは、水分を多く含んでいる土層に上方から負荷をかけると起きる現象であると指導を受けた。このことから、水分を多く含む土砂が盛られた直後に礎石を据えたため、礎石とその周辺部分が下方へ沈み込んだと考えられる。礎石の沈み込みが著しい複数の箇所では沈んだ石材の上にさらに大型の礎石

が設置されていた。

石列は大型礎石建物跡の北側の石列1、南側の石列2の計2条確認された。2条とも東西に延びており長軸は大型礎石建物跡の東西の軸に沿っている。2条の石列とも垂円礫と垂角礫を用いて礫を積み重ねない1段敷きで、幅は60cmほどである。石列1は大型礎石建物跡を構成する北側の礎石列(A-A')から60cmほどしか離れていない。石列2は大型礎石建物跡の南側の石列(B-B')から2m10cmほど離れていた。2つの石列は大型礎石建物跡と検出面で軸を同じくすることから、大型礎石建物跡に伴った雨落石の可能性が考えられる。

第3遺構面は、17世紀前半の焼土面や炭化物層からなる整地土(4層)の上面で検出された。1条の礎石列と3条の石列が確認された。礎石列1は2つの礎石からなり、調査区の西側で検出されている。2つの礎石は100cmをあけて配置されていた。礎石列1は石列3・4に平行しており、第2遺構面の大型礎石建物跡の軸に比べ軸が西に傾斜している。石列3は礎石列1から東に50cm、さらに石列4は80cmの距離に配されていた。石列3は直径20～30cm程の礫を配置し、石列4は小礫を乱雑に並べている。石列3は建物に伴う壁などの基礎で、石列4は雨落石の可能性が高い。石列5は第2遺構面の石列2に隣接しているが、検出面から石列5の方が古い時期に設置されている。この石列に伴う建物跡は確認できていないが、石列2同様に雨落石の可能性はある。

遺物の概要 遺物は、17世紀前半から近代までの陶磁器や石製品、金属製品、木製品、獣魚骨・貝類、ガラス製品がコンテナ75箱分出土した。このうち最も多く出土したのは陶磁器で、近世の唐津焼や須佐焼などである。石製品は石鍋や硯、金属製品は寛永通宝や包丁状の鉄製品がある。木製品は柱片など、獣魚骨・貝類には食料残渣と考えられるタイやシジミ、サルボウがある。ガラス製品は薬瓶が多数を占める。

まとめ 本調査区は現在の松江大橋の南詰に位置し、中世に存在した白潟の町の北端にあたり、近くには大橋川を渡る橋も存在していたと考えられる。その後、江戸時代には渡海場が本調査区の北に設置され、松江城下町の陸運と水運の結節点ともいえる場所である。今回の発掘調査では17世紀前半から近代までの遺構や遺物が確認された。中でも17世紀後半の遺構と考えられる大型礎石建物跡が検出されたことは特筆すべきである。本遺構は礎石が11か所で確認され、最も大きい礎石は直径が1mを超える。これほどの礎石は寺院や松江藩の公的施設などで用いられることはあるが、本調査区は江戸時代に商人町として栄えていた場所であり寺院や松江藩の公的施設が存在したという記録はない。検出された建物の規模は東西9.5m、南北5mある。南北に延びる石列1・2が雨落石とすれば南北の長さは変わらないが、東西の長さはさらに大きくなる可能性もある。



松江城下町遺跡白潟地区遠景(北から)



大型礎石建物跡(北西から)

また、大型の礎石を設置した建物の重量が通常より重いためだったと考えられる。これは、建物自体が高層であるか、あるいは商家や渡海場の荷解き場などに伴う瓦葺きの重厚な建物であったとも考えられる。いずれにしても、絵図の検討も併せて行う必要があるため今後の課題としたい。以上のように、今回の発掘調査によって、これまで絵図や文献資料などを用いた城下町研究の成果に加えて、白潟地区における町屋の形成と発展の様相をうかがい知ることができる貴重な資料が得られた。(伊藤徳広)

(3) 松江城下町遺跡(和多見町183番地外)

調査の概要 松江城下町遺跡白潟4A区(和多見町183番地外)は、白潟地区北東部の和多見町地内に所在する。調査区は大橋川に沿って延びる市道松江港線の南に位置する東西45m×南北25～35mの街区を東西に区画し西側を4A区、東側を4B区としている。調査地の地表面の標高は約2.0mで、北に向けてやや傾斜している。当地区は18世紀以降に埋め立てた後に町屋が形成されたことが松江城下町図や文献資料から明らかとなっており、調査前は調査区内に短冊形の地割が基礎等で残されている状況であった。

遺構の概要 調査区の基本層序は、上から表土(1層)、幕末以降の遺構に伴う整地土層(2層)、18世紀後半以降の遺構に伴う整地土層(3層)、18世紀後半の造成土(4層)に大別される(図3)。令和2年度の試掘調査では4層より下層で大橋川の川砂が確認されているが、今回の発掘調査では標高0m近くまで一部掘削を進めたものの、湧水がひどく確認には至らなかった。4層は南側の一帯を4-2層、それ以外の大部分である北側を4-1層として細分している。これは4-2層が褐色系の砂質土層で4-1層は黒色系の粘土層であり土質が全く異なること、4-1層は4-2層を覆うように堆積していたことにより区分した。4-2層は金雲母を多量に含む均一な砂質土層で、陶磁器の破片も出土しているが、後述する4-1層のように腐植物などは見られず、丘陵斜面などで採土したものを運搬して造成土として利用したと考えられる。また、4-2層には北の端に沿って盛土の内部に散漫な列を成した礫が確認された。石垣や石積みのような積み方はされていないが、盛土を施す範囲をある程度明確にし、かつ盛土が大橋川方向へ流出するのを防ぐ目的で設置されていた可能性がある。

4-1層には18世紀後半までの陶磁器や木製品が含まれ、腐植物も多く含まれることから造成土として運搬される前は湿地状地形の堆積土であった可能性が高い。風化していない遺物がほとんどであり人々の生活に近い場所であったと考えられる。4層はこれまでの絵図や文献史学研究により18世紀以降に当地を埋め立てたとされる造成土であると考えられる。

遺構面は2面確認された。上から第1遺構面が19世紀後半、第2遺構面は18世紀後半のものと考えられる(図2)。

第1遺構面は地表面から20～25cmほど下方で確認された遺構面である。多数の石列や瓦だまりが確認されている。後述する第2遺構面で検出した石列と同じ位置に新たな石列が並べられていた。その他に数条の石列も設置されている。石列3～5は町屋の間仕切りとなる壁の基礎と考えられ、同方向の石列が近代まで残されていた。図4の松江白潟町絵図「和多見町」(原図)や同(貼紙)には、間口が狭く細長い宅地が狭い空間を挟んで南北に配置されている様子が描かれており、石列3～5は南向きの建物の基礎にあたりと考えられる。石列3から5の北側には溝や石列で挟まれた

遺構、木桶を埋設した遺構が確認されている。これらは南北の建物群の間に設けられた共用空間の遺構で、水場や釜場、便所などに利用していたものと考えられる。この他、地鎮として埋められた可能性のある小壺や木製品も検出されている。

第2遺構面は大橋川河畔を埋め立てた造成土層の上面にあたり、第1遺構面の約50cm下方で確認された。建物の基礎と考えられる石列を複数検出している。

石列1は敷地を東西に仕切る南北方向の石列で、調査区のおよそ南半分で確認された。二つの石列が隣り合うように石材を配置しており、石列1の東側を石列1A、西側を石列1Bと呼称している。石列1Aは割石の大海崎石を多量に用いて南北方向に並べており、石列1Bは切り石の来待石を整然と南北方向に並べている。石列1は1Aと1Bで使用する石材や加工方法、並べ方も異なっていることから、ここを屋敷境として、東西それぞれの土地所有者によって設置されたものと考えられる。石列2は調査区の北側の4-1層上面に造られた遺構で、東西方向に石材を配置し、東端から北へ直角に曲がり調査区外へ延びる。大型の割石を配し、両脇に割石を同一方向へ配置している。北へ方向を変えても同様の石材の並びとなっている。建物の壁の基礎となる石列と考えられるが、どのような構造の建物が存在したか不明である。第2遺構面にはそのほかに数条の石列が確認されている。

遺物の概要 表土や整地・造成土層から、近世陶磁器のほか、ミニチュア土器や人形などの土製品、漆塗り椀や木札などの木製品、石臼などの石製品、青銅製髪飾りや豆板銀、銅銭、キセルなどの金属製品、獣骨などコンテナ62箱分の遺物が出土している。陶磁器はほとんどが18～19世紀のものである。豆板銀は秤量貨幣である銀の取引で重さを調整するための少額貨幣である。県内での出土数は数点のみで、当地で出土したことは出雲国でも有数の商業地である当地の性格を示していると考えられる。

まとめ 今回の発掘調査では、昨年度調査した白潟5区の発掘調査と同様に、土層の堆積状況や出土遺物から4A区が18世紀後半に造成され、その上に町屋を形成したことなどが明らかとなった。近世後半に作成された松江白潟町絵図「和多見町」(貼紙)には、間口を北と南へそれぞれ向ける町屋の配置と、土地の所有者の名義とその屋敷境が記されている。発掘調査でも南北にそれぞれ間口が面していると考えられる町屋跡の石列が検出され、屋敷境と考えられる地点では石列の石材や積み方が異なることが明らかとなった。以上のように、今回の発掘調査によって、これまでの絵図や文献資料などを用いた城下町研究の成果に加えて、白潟地区(和多見町)における町屋の形成と発展の様相をうかがい知ることができる貴重な資料が得られた。(伊藤徳広)



白潟4A区完掘状況(北東上空より)



石列1検出状況(北西より)

3 国道 432 号大庭バイパス建設に伴う発掘調査

事業概要 この調査は島根県土木部道路建設課から委託を受けて実施しており、今年度は、団原Ⅲ遺跡 3 区の調査を行った。調査期間は令和 5 年 5 月 30 日から 8 月 31 日、調査対象面積は 100m²、調査員 1 名、会計年度任用職員調査補助員 2 名で実施した。

団原Ⅲ遺跡（3区）

調査の概要 本遺跡は松江市大庭町に所在し、標高約 20 mの台地上に位置する。基本層序は、1層：現代の造成土、3層：近世後半から近代の遺物包含層、4層：黒ボク土上層の盛土や攪乱層、5層：縄文時代から古代の遺物包含層（黒ボク土）、6～11層：旧石器時代の堆積層となっている。5層上面で、性格不明の遺構（SX118）1基、ピット 14基、加工段 1カ所、6層上面ではピット 28基、7層上面では 9基が検出された。黒ボク土からは古代の須恵器、移動式竈、古代瓦、縄文土器、打製石鏃、黒曜石製石核などが出土した。7層上面の調査終了後、サブトレンチを設定して掘削したところ、7層から黒曜石製台形様石器 1点が出土した。この石器は、縦長の逆台形で、腹背両面に平坦剥離が施されていた。分析の結果などから、石材は隠岐産の黒曜石と考えられる。刃縁部には、刃部に直交する線状痕が残っており、槍先などとして使用されたと推測される。石器の出土はこの 1点のみであったが、火山灰分析の結果以下のことが判明した。石器の出土した層位は始良 T n 火山灰（約 2.8～3 万年前）が高純度で検出された層の上層であった。さらに下層の 9層、11層はそれぞれ、三瓶木次テフラ（約 10.5 万年前）、大山松江軽石（約 13 万年前以降）の二次堆積層であることが分かった。

まとめ 黒曜石製台形様石器の形状や製作技法にみられる特徴は、西日本ではあまり見られず、東日本に多く見られるため貴重な資料となった。また石器が旧石器時代の堆積層にともなって出土したことや、石器出土層より下層において、年代決定の指標となるテフラを含む層が確認されたことも重要である。本遺跡が立地する台地上では 8 遺跡で旧石器が確認されており、この台地上は後期旧石器時代後半期をとおして旧石器人にとって活動しやすい環境であったことが推測される。

（伊藤 智）



団原Ⅲ遺跡位置図（1/25,000 松江）



団原Ⅲ遺跡 3 区（南東から）



黒曜石製台形様石器（左：背面 右：腹面）

VII 学術調査ほか

1. 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。令和 5 年度は、政庁域における遮蔽施設の存否確認のため、正殿東側の約 25㎡を発掘調査した。現地調査は 9 月 12 日～ 11 月 28 日まで、調査員 1 名、補助員 2 名で実施した。

遺構の概要 幅 2.5m × 長さ 10m のトレンチ（T74）を 1 箇所設定し掘削を行った。当初目的とした遮蔽施設の痕跡については近現代の攪乱により確認できなかったものの、政庁域の基盤に関する詳細な情報が得られた。



出雲国府跡位置図

まず、一部深掘りの結果、初めて地山に関する有用な情報が得られ、段丘堆積物であることが明らかとなった。現在、当該地周辺で最も標高が高いのは政庁域であるが、こうした地形は国府が置かれる遙か以前に形成され、政庁域の占地に少なからず地勢的要因あるいは制約が働いていると考えられる。

最も大きな成果として挙げられるのは、整地土の構造が明らかになったことである。整地土は黄色土と黒色土に大別でき、後者には数 cm 大の炭化物が多量に含まれる。整地土からは 8 世紀後半～9 世紀前葉の遺物（須恵器・土師器・瓦・羽口等）がまとめて出土しており、この時期に造成されたとみられる。当該期（出雲国府Ⅲ-2 期）は政庁域における主要な建物が掘立柱から礎石へと構造が変化した時期であり、今回検出した整地土も一連の土木工事によるものと考えられ、地盤改良にも大きな労力をかけたことがわかる。

遺物の概要 古代の遺物は、整地土及び溝埋土からの出土である。大多数が須恵器・土師器の破片で、瓦や玉作関係遺物、製鉄関係遺物も認められる。注目されるのは、整地土出土の墨書土器であり、須恵器皿（転用碗）の外底部に「國□（厨か）」の文字が認められた。古墳時代の遺物も多く出土し、特に古墳時代中期のものが多数を占める。

まとめ 今年度の調査により、政庁域における整地の実態や建物変遷との関連を考える上で貴重な成果を得ることができた。一方、各遺構との相関性や性格などは不明確な点も多いため、追加調査も含め、総合的に検討を進める必要がある。（岩崎孝平）



石敷遺構の検出状況（西から）

2 考古基礎資料調査研究（墓制調査）

島根県埋蔵文化財調査センターと島根県古代文化センターは、「考古基礎資料調査（墓制調査）」事業の一環として、島根県内に所在する重要古墳の調査を行っている。今年度は、以下の3基の古墳について測量調査を実施した。

（1）堀部1号墳（松江市鹿島町）

本古墳は造り出し付き円墳として松江市指定史跡に指定されている。かねてより前方後円墳である可能性が指摘されており、墳丘及び周辺地形の測量調査を実施した。その結果、全長70mの前方後円墳（後円部2段、前方部1段）である可能性が高まった。こうした成果をもとに、令和6年度に発掘調査を予定している。

（2）才光寺古墳群 K113 号墳（松江市大草町・八雲町）

昨年度着手した大草丘陵の南西端に位置する K113 号墳の補足測量調査を実施した。横穴式石室の三次元計測結果を下図として、現地で補正し実測図を作成した。また、併せて点群測距による墳丘の間接測量を行い、東西長 14.6m × 南北長 9.8m、残存高 2.3m の方墳であることが明らかとなった。大草丘陵古墳群における造墓活動の推移や、横穴式石室導入期の出雲東部を追究する上で重要な成果である。

（3）雨乞山古墳（松江市八雲町）

県内横穴式石室における基礎データ収集の一環として、雨乞山古墳石室の三次元計測を実施した。今後計測データを整理し、山代原古墳等の他の石棺式石室と比較することで、より詳細な視点から構造・技術的検討が可能になると思われる。 (岩崎孝平)

3 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理を行い、その内容を明らかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるようデータベース化を図ることを目的としている。

令和3年度から開始した西川津遺跡海崎地区（『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会 1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（同 1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（同 1989））の再整理では、大きく4つの作業をおこなった。①非掲載「石器」の器種・石材分類、②非掲載「動物遺存体」の同定、③分類・同定をおこなった非掲載「石器」「動物遺存体」のデータベース入力、④非掲載遺構図面の整理である。今年度の作業によって、西川津遺跡の重要遺物である「石器」「動物遺存体」の全容を把握することができ、さらに昨年度までに実施した土器の分類によって得られた各層の堆積時期と遺物を照合して各資料の所属時期をおおむね把握することができた。 (真木大空)

4 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、主にトレハロースでの保存処理を行っている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、古代出雲歴史博物館と連携し、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした観察・撮影・分析も行なっている。

令和5年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表1・2・3のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。理化学分析は表4のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。 (澤田正明・上山晶子)

① 保存処理業務実績

表1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
飯梨川河川改修に伴う富田川河床遺跡発掘調査報告(4)(1984)				
富田川河床	非掲載1	折敷破片?	トレハロース含浸	処理済
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書V(海崎地区3)(1989)				
西川津	79図-42	広鍬	トレハロース含浸	処理済
西川津	79図-43	広鍬	トレハロース含浸	処理済
西川津	80図-47	広鍬	トレハロース含浸	処理済
一般国道9号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書8(1996)				
岩屋口南	131図-1	舟形木製品	アクリル樹脂塗布	処理済
岩屋口南	131図-2	田下駄	アクリル樹脂塗布	処理済
国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-IV-(1983)				
布田	173図-1	弓	トレハロース含浸	処理済
布田	173図-3	弓弭部片	トレハロース含浸	処理済
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書IV(海崎地区2)(1988)				
西川津	117図-28	広鍬未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	117図-29	広鍬未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	117図-30	広鍬未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	127図-89	丸鍬未成品	トレハロース含浸	処理済
西川津	150図-207	高坏未成品	トレハロース含浸	処理中
西川津	164図-286	なすび形鋤	トレハロース含浸	処理済
朝酌川広域河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書13西川津遺跡VIII(2001)				
西川津	103図-1	白未成品	トレハロース含浸	処理中
鳥根県古代文化センター調査研究報告書56鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター所蔵資料再整理事業報告書2鳥根県西川津遺跡出土品1(2021)				
西川津	非掲載-3	樹皮	トレハロース含浸	処理済
西川津	非掲載-4	樹皮	トレハロース含浸	処理済
西川津	非掲載-5	樹皮	トレハロース含浸	処理済
古代出雲歴史博物館建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書(2004)				
五反配	27図-131	直柄手鍬	トレハロース含浸	処理済
五反配	非掲載1		トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
西川津	164 図 -287	なすび形鋤	トレハロース含浸	処理済
西川津	164 図 -288	組合式鋤	トレハロース含浸	処理済
西川津	164 図 -291	田下駄	トレハロース含浸	処理済
西川津	165 図 -292	田下駄?	トレハロース含浸	処理済
西川津	165 図 -293	板状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	165 図 -295	田下駄	トレハロース含浸	処理済
西川津	166 図 -301	板状木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	166 図 -302	建築部材	トレハロース含浸	処理済
西川津	166 図 -303	有頭棒	トレハロース含浸	処理済
西川津	166 図 -304	鋤 or 鉤の柄	トレハロース含浸	処理済
西川津	166 図 -305	杭	トレハロース含浸	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道 431 号道路改築事業 (東林木バイパス) に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 10 (2012)				
山持	非掲載 -1	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -2	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -3	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -4	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -5	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -6	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -7	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -8	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -9	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -10	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -11	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中
山持	非掲載 -12	SB01 建築材	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 7 (2024)				
本田窯跡	76 図 -19	石臼の軸	アクリル樹脂塗布	処理済

遺跡名	整理番号	資料名	処理方法	実施状況
古代文化センター研究事業 テーマ研究 「島根県域における弥生社会の総合的研究」				
仁摩大寺	W4	板	トレハロース含浸	処理済
仁摩大寺	W7	梯子	トレハロース含浸	処理済
仁摩大寺	W13	櫓	トレハロース含浸	処理済
仁摩大寺	W16	田下駄	トレハロース含浸	処理済
仁摩大寺	W22	建築部材 / 壁?	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W23	建築部材 / 梁または桁	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W25	建築部材 / 垂木	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W30	建築部材 / 壁?	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W37	建築部材 / 壁?	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W39	建築部材 / 梁または桁	トレハロース含浸	処理中
仁摩大寺	W42	建築部材 / 壁	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道 431 号道路改築事業 (東林木バイパス) に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 III (2006)				
青木	141 図 -W117	円形曲物	アクリル樹脂塗布	処理済
青木	142 図 -W123	円形曲物	トレハロース含浸	処理済
青木	142 図 -W124	円形曲物	トレハロース含浸	処理済
青木	非掲載 B-4	曲物	トレハロース含浸	処理済
青木	非掲載 1	曲物破片	アクリル樹脂塗布	処理済
青木	非掲載 2	曲物破片	アクリル樹脂塗布	処理済

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道 9 号 (三隅益田道路) 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 3 (2020)				
上古市	39 図 -3	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	52 図 -2	建築材 / 壁?	トレハロース含浸	処理済
上古市	52 図 -4	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理済
上古市	53 図 -2	建築材 / 屋根?	トレハロース含浸	処理済
上古市	53 図 -3	建築材 / 壁 (床)?	トレハロース含浸	処理済
上古市	53 図 -4	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理済
上古市	54 図 -2	建築材 / 妻壁?	トレハロース含浸	処理済
上古市	55 図 -1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	55 図 -2	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	56 図 -3	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	57 図 -1	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	57 図 -2	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	57 図 -4	柱	トレハロース含浸	処理済
上古市	57 図 -5	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	60 図 -4	建築材 / 桁	トレハロース含浸	処理中
上古市	62 図 -2	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理済
上古市	63 図 -1	建築材 / 壁か屋根	トレハロース含浸	処理済
上古市	66 図 -1	建築材 / 壁	トレハロース含浸	処理済
上古市	67 図 -2	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理済
上古市	67 図 -7	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	70 図 -1	不明	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図 -1	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理済
上古市	74 図 -4	建築材 / 床	トレハロース含浸	処理済
上古市	74 図 -5	杭	トレハロース含浸	処理済
上古市	74 図 -6	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	74 図 -7	建築材 / 屋根	トレハロース含浸	処理中
上古市	74 図 -8	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	75 図 -1	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	75 図 -2	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	75 図 -3	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	75 図 -4	不明	トレハロース含浸	処理済
上古市	非掲載 -1	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -2	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -3	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -4	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -5	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -6	板材	アクリル樹脂塗布	処理済
上古市	非掲載 -7	板材	アクリル樹脂塗布	処理済

Ⅶ 学術調査ほか

表 2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 14 (2001)						
馬場	111 図-1	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-2	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-3	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-4	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-5	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-6	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-7	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-8	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-9	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-10	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-11	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-12	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-13	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-14	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-15	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-16	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-17	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-18	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	111 図-19	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-1	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-2	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-3	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-4	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-5	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-6	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-7	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-8	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-9	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-10	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-11	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-12	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-13	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-14	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-15	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-16	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-17	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-18	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-19	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-20	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-21	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-22	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-23	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-24	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-25	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
馬場	112 図-26	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道 9 号 (出雲湖陵道路) 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 1 (2017)						
坂本谷	109 図-19	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 7 (2024)						
本田窯跡	133 図	コンクリート基礎付着鉄釘	鉄	アクリル樹脂 (パラロイド B72) 塗布	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
富田川河床遺跡発掘調査報告書 - III - (1983)						
富田川河床	非掲載-3	錫杖頭	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-81-1	鈴	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-81-2	鈴	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-81-3	鈴	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-145	甲冑片	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-180-1	八双金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-180-2	八双金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-180-3	八双金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-245	鍵	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-264-1	刀尻金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-300-1	火箸	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
富田川河床遺跡の研究 (2024)						
富田川河床	67 図-2	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	67 図-13	切羽	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	67 図-17	透金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	67 図-23	金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	67 図-35	刀柄縁	金	クリーニング・アクリル樹脂(パラロイドB72)塗布	処理済	
富田川河床	68 図-8	刀装具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	68 図-13	熊手	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-2	鉄鏃	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-3	筭	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-4	不明青銅器	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-6	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-7	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-11	切羽	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-14	刀装具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-15	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-19	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-25	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	69 図-26	引手縁座部分	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-1	鍬形	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-2	覆輪	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-4	匙	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-14	金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-15	棒状青銅器	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-16	不明	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-27	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-39	茱萸	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-41	切羽	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-43	鍵?	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-46	刀金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	70 図-47	甲冑金具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	71 図-4	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB73)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-124-7	覆輪	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-131-1	覆輪	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-205-2	棒状青銅器	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-336-1	目貫	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	
富田川河床	非掲載-368-1	刀装具	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	処理済	

遺跡名	整理番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
古代文化センター研究事業 古代文化研究事業 テーマ研究「古代隠岐の形成と特質」						
尼寺原	1-1	紡錘車	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	1-2	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	1-3	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	1-4	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	1-5	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	2-1	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	2-2	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	
尼寺原	2-3	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理済	

Ⅶ 学術調査ほか

遺跡名	整理番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
尼寺原	2-4	不明	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	2-5	鋤先	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-1	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-2	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-3	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-4	鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-5	鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-6	板状鉄器	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-7	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	3-8	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-1	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-2	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-3	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-4	棒状鉄器	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-5	鉄塊	鉄	クリーニング・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-6	刀装具	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-7	不明	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理済	
尼寺原	4-8	耳環	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (パラロイド B72) 含浸	処理済	

表 3 石製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	備考
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (刊行前)					
船津遺跡	—	石塔	クリーニング・アクリル樹脂 (パラロイド B72) 塗布・接合	処理済	

② 理化学分析

表 4 蛍光 X 線分析 ※令和 5 年 2 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	内容	点数	備考
5 月 29 日	島根県埋蔵文化財調査センター	本田窯跡出土土壌の成分分析	1	
6 月 30 日	島根県埋蔵文化財調査センター	松江城下町遺跡出土金属製品の材質分析	1	
6 月 6 日～7 月 3 日	古代文化センター	富田川河床遺跡出土金属製品の材質分析	10	

5 試掘確認・分布調査

(1) 令和5年度 試掘確認調査実績

事業 (予算)	事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地 (地番)	現地調査 期間	調査対象 面積	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積)	調査員
確認調査 (国事業)	一般国道 191 号 益田西道路 建設事業予定地	要注意箇所 25	益田市白上町 (白上町 1130-1 外)	令和 5 年 6 月 5 日～ 7 月 13 日	1,500㎡	トレンチ 2 カ所 (25㎡)	遺構・遺物なし	否	宮本
		要注意箇所 26	益田市白上町 (白上町イ 1359-1 外)		2,550㎡	トレンチ 3 カ所 (約 20㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本
		要注意箇所 27	益田市白上町・虫追町 (白上町イ 1379-2 外)		4,600㎡	トレンチ 3 カ所 (20㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本
		要注意箇所 28	益田市白上町・虫追町 (白上町イ 1359-3 外)		3,500㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本
		要注意箇所 29	益田市白上町・虫追町 (白上町イ 1338-1 外)	令和 5 年 8 月 21 日～ 10 月 10 日	7,000㎡	トレンチ 7 カ所 (約 55㎡)	落ち込み 1 (時期不明) 遺物なし	否	大庭 宮本 松山
		要注意箇所 32	益田市白上町 (白上町口 860 外)		1,800㎡	トレンチ 3 カ所 (約 18㎡)	遺構なし トレンチ 1 表土 から土師器 (中 世) 出土	否	大庭 宮本
		要注意箇所 33	益田市白上町・虫追町 (虫追町 1406 外)		7,770㎡	トレンチ 4 カ所 (24㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本 松山
		要注意箇所 34	益田市虫追町 (虫追町 1086 外)	令和 5 年 6 月 5 日～ 7 月 13 日	7,200㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本 松山
		要注意箇所 35	益田市虫追町 (虫追町 1444 外)		430㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本 松山
		要注意箇所 36	益田市内田町・虫追町 (虫追町 1043 外)		13,300㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	令和 4 年度未実 施箇所の調査(未 光遺跡に接する谷 部) 遺構・遺物なし	否 ※未光遺跡は 範囲変更なし	大庭 松山
	要注意箇所 38	益田市内田町・虫追町 (内田町口 149 外)	6,500㎡		トレンチ 5 カ所 (30㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 宮本 松山	
	要注意箇所 39	益田市飯田町 (飯田町 1489-1)	令和 5 年 8 月 21 日～ 10 月 10 日	15,700㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	令和 4 年度未実 施箇所の調査 遺構・遺物なし	否	大庭	
	要注意箇所 43	益田市虫追町 (虫追町イ 1455-1 外)		970㎡	トレンチ 2 カ所 (約 17㎡)	トレンチ 1 で 道路遺構 遺物なし	要 (2,200㎡) ※ 43-44 を合 わせ神田ヶ追 遺跡とする	大庭 宮本 松山	
	要注意箇所 44	益田市虫追町 (虫追町イ 1459 外)		2,640㎡	トレンチ 5 カ所 (約 37㎡)	トレンチ 3 で 道路遺構 陶磁器 (近世)		大庭 宮本 松山	
	要注意箇所 3	益田市飯浦町 (飯浦町口 109-3 外)		令和 5 年 11 月 14 日～ 22 日	1,500㎡	トレンチ 3 カ所 (約 18㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 松山
	要注意箇所 4	益田市小浜町 (小浜町 232 外)	1,000㎡		トレンチ 1 カ所 (約 7㎡)	遺構・遺物なし	否	大庭 松山	
要注意箇所 9	益田市戸田町 (戸田町口 69)	1,500㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)		遺構・遺物なし	否	大庭 松山		
確認調査 (県事業外)	浜田自動車道 4 車線化事業 予定地	郷路橋遺跡	邑智郡邑南町市木 (市木 1363-2 外)	令和 5 年 8 月 28-29 日	700㎡	トレンチ 1 カ所 (12㎡)	製鉄関連遺物包 含層 (近世) 陶磁器・鉄滓 (近世)	要 (624㎡)	宮本
	松江北道路 建設予定地	要注意箇所 1-12	松江下東川津町 (下東川津町 1354 外)	令和 6 年 2 月 15 日～ 21 日	4750㎡	トレンチ 5 カ所 (約 30㎡)	遺構なし トレンチ 2 から 土師器 トレンチ 5 から 陶磁器出土	要 (R6 試掘によ り決定)	宮本

(2) 令和5年度 分布調査実績

事業 (予算)	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
分布調査 (国事業)	一般国道 191 号益田・田万川 道路予定地内	益田市飯浦町、戸田町、 小浜町	令和 6 年 2 月 29 日～3 月 1 日	益田市

VIII 県内調査一覧

市町村など（令和4年度12月1日以降に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	集落跡	黒田畦遺跡 (仁平屋敷地区)	松江市大庭町字領恩 286 - 1、286 - 4、286 - 6、286 - 8	埋文第 342 号 5.2.14	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	10.77	5.2.14 ～ 5.2.24	宅地造成
2	住居跡	禅定時遺跡	松江市八雲町西岩 坂 1054 - 2、1958 - 3	埋文第 1388 号 5.2.20	松江市長 上定昭仁	灘 友佳	13.5	5.2.21 ～ 5.2.22	その他の開発 (土地売却)
3	散布地	柳田遺跡	出雲市佐田町須佐 1186 - 3	文財第 1047 号 5.3.23	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	原 俊二	12	5.3.27 ～ 5.3.31	道路
4	散布地 集落跡	喜時雨遺跡	鹿足郡津和野町田二穂 164 - 5	津教委第 1016 号 4.11.16	津和野町教育委員会 教育長岩本要二	渡辺聡	330	4.12.中旬 ～ 5.2. -	道路
5	古墳	廻田古墳群	松江市矢田町 591、593 - 1	埋文第 53 号 4.5.23	松江市長 上定昭仁	永野智朗	936.0	4.6.1 ～ 4.10.31	その他の建物 (配水池新設)
6	古墳	廻田古墳群	松江市矢田町 591、593 - 1	事務連絡 4.10.18	松江市 埋蔵文化財調査課	—	936.0	4.6.1 ～ 4.10.31 ↓ 5.6.30	

市町村など（令和5年度12月28日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町字小原 1109-17	埋文第 7 号 R5.4.4	松江市長 上定昭仁	三宅和子	4.5	5.4.6 ～ 5.4.6	個人住宅
2	城下町遺跡	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町口 2045-1	益教文第 3 号 R5.4.3	益田市教育委員会 教育長高市和則	佐伯昌俊	6.0	5.4.12 ～ 5.4.19	その他開発 (屋外トイレ改修)
3	城下町遺跡	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町口 4-41	益教文第 4 号 R5.4.3	益田市教育委員会 教育長高市和則	佐伯昌俊	84.0	5.5.8 ～ 5.5.31	その他の建物 (水源地)
4	散布地	日吉欠田遺跡	松江市八雲町日吉 243-1	埋文第 1468 号 R5.4.7	松江市長 上定昭仁	川西学	70.0	5.4.7 ～ 5.4.21	宅地造成
5	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町字小原 1109-17	埋文第 39 号 R5.4.14	松江市長 上定昭仁	三宅和子	124	5.4.10 ～ 5.4.28	個人住宅
6	散布地	山居空遺跡	松江市浜乃木二丁目 756-5、756-15 外	埋文第 58 号 R5.4.24	松江市長 上定昭仁	川西学	91.0	5.4.24 ～ 5.5.2	個人住宅
7	散布地	旧竹矢小学校校庭遺跡	松江市八幡町 276-2	埋文第 79 号 R 5.5.15	松江市長 上定昭仁	三宅和子	13.5	5.5.17 ～ 5.5.17	その他建物 (公民館新築)
8	集落跡	浜遺跡	益田市高津 1 丁目 イ 507-1	益教文第 59 号 R5.6.14	益田市教育委員会 教育長高市和則	佐伯昌俊	18.0	5.6.20 ～ 5.6.21	保存目的の範囲内要確認調査
9	集落跡 城館跡 自然河道	蔵小路西遺跡	出雲市渡橋町 239-1、239-3、239-5	文財第 195 号 R5.6.13	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	景山このみ	26	5.6.15 ～ 5.6.15	宅地造成
10	散布地	下白石遺跡	松江市宍道町 147-2、147-3、148	埋文第 173 号 R5.6.20	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	9	5.6.20 ～ 5.6.20	宅地造成
11	散布地	結本谷 1 遺跡	出雲市斐川町直江 3365-2 他	文財第 220 号 R5.6.22	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	下江裕貴	18	5.7.3 ～ 5.7.3	その他の開発 (工業団地造成)
12	集落跡	鏡田遺跡	松江市大庭町字喜衛門屋敷 978-12 外 4 筆	埋文第 112 号 R5.6.28	松江市長 上定昭仁	江川幸子	353	5.7.3 ～ 5.9.22	宅地造成
13	城館跡	鈴垂山城跡	松江市美保関町森山 488-2 外	埋文第 187 号 R5.6.22	松江市長 上定昭仁	廣濱貴子	202.8	5.7.3 ～ 5.9.29	その他開発 (法面擁壁・管理道)
14	散布地	島根大学構内遺跡	松江市西川津町 1060	R5.6.28	国立大学法人 島根大学学長 服部泰直	會下和弘	2,469	5.8.1 ～ 5.12.27	学校建設
15	集落跡	小山遺跡	出雲市小山町 567、583	文財第 265 号 5.7.13	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	景山このみ	10	5.7.19 ～ 5.7.19	宅地造成
16	その他の遺跡 (市場跡)	中世今市遺跡	益田市乙吉町口 -21	益教文第 92 号 5.7.26	益田市教育委員会 教育長高市和則	林 弘幸	4	5.8.7 ～ 5.8.31	保存目的の範囲内用確認調査
17	散布地	里方八石原遺跡	出雲市里方町 73-3、75-2	文財第 328 号 5.8.4	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	景山このみ	8	5.8.22 ～ 5.8.22	集合住宅

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
18	散布地	大谷遺跡	松江市大井町シウシ垣 854-3	埋文第 289 号 5.8.22	松江市長 上定昭仁	古藤博昭	4.5	5.8.24 ～ 5.8.24	個人住宅
19	城館跡	瀬戸山城跡	飯石郡飯南町下赤名 702-2、717-2	飯教第 280 号 5.8.30	飯南町教育委員会 教育長大谷哲也	石飛幹祐	1200	5.9.13 ～ 5.9.29	その他開発
20	生産遺跡	屋敷谷Ⅱ遺跡	出雲市多伎町奥田儀 972、974	文財第 405 号 5.9.6	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	幡中光輔	2,500.00	5.9.25 ～ 6.1.31	道路
21	集落跡 経塚	乃木西廻遺跡	松江市上乃木 4 丁目 2005-9	埋文第 399 号 5.9.19	松江市長 上定昭仁	三宅和子	467.52	5.9.21 ～ 5.9.22	個人住宅
22	集落跡	ハゴキ遺跡	鹿足郡津和野町中川 20	津教委第 614 号 5.9.7	津和野町教育委員会 教育長岩本要二	渡辺聡	440	5.10. 上旬 ～ 6.2.-	農業基盤整備 事業
23	集落跡	半田浜遺跡	(自) 江津市二宮町神主 1820-25 地先 (至) 同 1820-27 地先	江教社第 183 号 5.9.15	江津市教育委員会 教育長田中利徳	持田直人	400	5.10.3 ～ 6.3.29	土砂採取
24	集落跡	川合神社周辺遺跡	大田市川合町川合 3214 他	大教石第 10859 号-2 5.9.1	大田市教育委員会 教育長武田祐子	中田健一	12,000	5.9.1 ～ 6.3.31	農業基盤整備 事業
26	集落跡 経塚	乃木西廻遺跡	松江市上乃木 4 丁目 2005-9	埋文第 428 号 5.10.20	松江市長 上定昭仁	川西 学	170	5.10.24 ～ 5.11.2	個人住宅
27	散布地	結本谷Ⅲ遺跡	出雲市斐川町直江 3046	文財第 515 号 5.10.25	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	景山このみ	8	5.11.7 ～ 5.11.7	農業基盤整備 事業
28	集落跡 貝塚 自然河道	矢野遺跡	出雲市矢野町 314	文財第 570 号 5.11.21	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	景山このみ	37.5	5.11.27 ～ 5.12.8	保存目的の範囲内容確認調査
29	城下町遺跡	中世七尾城下町遺跡	益田市本町 6-8	益教文第 158 号 5.11.28	益田市教育委員会 教育長高市和則	佐伯昌俊	6	5.12.11 ～ 5.12.19	その他開発 (旧公民館建物解体工事)
30	城館跡	三の宮城跡	出雲市佐田町大呂 471、2512、2515	文財第 585 号 5.11.28	出雲市教育委員会 教育長杉谷学	須賀照隆	10	5.12. 上旬 ～ 5.12. 上旬	河川
31	生産遺跡	出雲国分寺瓦窯跡	松江市竹矢町中竹矢 1533-1 外	埋文第 479 号 5.11.29	松江市長 上定昭仁	三宅和子	30	5.12.4 ～ 5.12.28	その他の建物 (法面保護工事)
32	生産遺跡	菅谷鈿跡	雲南市吉田町吉田地内	雲教文第 201 号 5.8.7	雲南市教育委員会 教育長景山明	高橋誠二	36	5.8.28 ～ 5.11.30	遺跡整備

県 (令和 5 年度 12 月 28 日までに通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	生産遺跡	船津遺跡	江津市松川町 171 外	島教埋第 15 号 5.5.7	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	稲田陽介	700	5.5.29 ～ 5.11.31	一級河川江の川直轄河川改修事業
2	集落跡	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町 1018-2 外	島教埋第 32 号 5.4.17	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	鈴木七奈	300	5.5.1 ～ 5.7.31	斐伊川水系大橋川河川改修事業
3	集落跡	松江城下町遺跡 (和多見町 183 外)	松江市和多見町 180 外	島教埋第 50 号 5.4.28	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤徳広	380	5.5.12 ～ 5.7.31	斐伊川水系大橋川河川改修事業
4	散布地 集落跡	団原Ⅲ遺跡	松江市大庭町 70-3	島教埋第 76 号 5.5.12	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤智	150	5.5.22 ～ 5.8.31	国道 432 号大庭バイパス建設事業
5	散布地 集落跡 生産遺跡	郷路橋遺跡	邑智郡邑南町市木 1363-2	島教埋第 209 号 5.8.25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	6	5.8.28 ～ 5.9.8	浜田道路 4 車線化事業
6	集落跡	松江城下町遺跡 (白潟本町 75-6 外) (八軒屋町 1 外)	松江市白潟本町 756 外・八軒屋町 1 外	島教埋第 220 号 5.9.1	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤徳広	300	5.9.25 ～ 5.12.28	斐伊川水系大橋川河川改修事業
7	集落跡	松江城下町遺跡 (魚町 7-5 外)	松江市魚町 7-5 外	島教埋第 449 号 5.10.2	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	東山信治	70	5.12.1 ～ 6.2.29	斐伊川水系大橋川河川改修事業

IX 刊行物

1 報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
『本田窯跡・千本崎城跡』 一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書7	269	林 健亮	本田窯跡は江津市にあった明治20年ごろから昭和30年代の主に陶器を生産した石見焼窯跡で、連房式登窯の1房分と作業場の調査を行った。作業場では建物跡を始め水簸施設・水路などを検出した。水簸施設は粘土を水でさらして陶土を精製するための施設である。周囲からは数条の石垣を始め、石垣のかわりに石見焼甕に土を充填して積んだ窯垣などを検出した。 千本崎城跡は山城跡の伝承が残る丘陵だったが、山城跡の遺構は確認されなかった。一方、14世紀代の土器・陶器が出土し、南北朝期の墓が存在した可能性ある。
『五反田古墳群 門生黒谷Ⅲ遺跡』 安来道路4車線化事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	270	宮本正保	五反田1号墳は、石槨西側の広い範囲に礫が敷設されるが、主体部の外に礫が敷かれる例は現在のところはこの古墳のみである。木簡の形態は割竹形木棺・箱形木棺の両方の可能性がある。竪穴式石槨は構築墓坑の東寄りに置かれる。石槨の東壁と西壁では南小口との関係が異なり、東壁が先行して構築されたのち、西壁と南小口が一体的に石を積み重ねて造られる。古墳の立地する出雲東部、周辺の東伯耆・西伯耆との重層的な関係の中で主体部構築にあたってさまざまな手法が用いられたと考えられる。 門生黒谷Ⅲ遺跡は、五反田1号墳の下位に残存していた範囲からピット2基を検出した。遺物は出土していない。
『団原Ⅲ遺跡 1～3区』 国道432号大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4	273	伊藤 智	団原Ⅲ遺跡は、茶白山の西に広がる標高約20mの台地上に位置する。旧石器時代の始良 Tn 火山灰の二次堆積層の上層から黒曜石製台形様石器が1点出土した。当地域の旧石器を研究する上で貴重な発見例となった。また、近世後半から近代にかけての鍛冶炉・鍛冶関連遺物が検出され、当該期における鉄素材の流通や集落での鉄製品生産の様相を考える上で貴重な資料となった。

2 パンフレット

名称	部数	概要
シリーズしまねの遺跡 発掘調査パンフレット13 松江城下町遺跡白湯地区	3,000	江戸時代、堀尾氏によって整備された松江城下町。その中でも松江藩の経済の中心地であった白湯地区の発掘調査成果について、分かりやすく解説したパンフレット。A4カラー8頁。

3 ドキ土器まいぶん

名称	部数	概要
第69号 徹底解剖！出雲東部の首長墓 石棺式石室の謎に迫る	5,200	古墳時代後期（約1,400年前）に松江市を中心とする出雲東部の首長墓に採用された石棺式石室の構造や特徴について、分かりやすく解説したパンフレット。A4カラー6頁。

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 32

— 令和5年度 —

発行 2024年3月

編集 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町33番地

【電話】0852-36-8608

【Eメール】maibun@pref.shimane.lg.jp

【ホームページ】<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

